

令和3年度 KPI評価シート

R3年度の評価と課題	施策名	KPI名	R3年度KPI結果	R3年度KPI目標値	評価	課題	課題解決に向け、今後実施すべき取組
	(1) 企業立地や産業集積の促進等による地元での就職環境の整備	企業立地促進助成措置件数(件)【累計】 【地域経済振興課】	91	89	達成	(内部) ◆企業の投資が一定数あり、彦根市企業立地促進条例の周知により、目標値を達成することができました。	(内部) ◆引き続き、彦根市企業立地促進条例の周知を行うとともに、企業の設備投資の促進に努めて参ります。
						(外部)	(外部)
	(2) 起業や新分野への進出に対する支援による新たな雇用の創出【基本目標3にも掲載】	起業者数(人)【累計】 【地域経済振興課】	138	104	達成	(内部) ◆支援対象者数は昨年度比で微増であったが、実際に起業された人数が3倍近くとなり目標を達成することができました。	(内部) ◆相談窓口利用者による起業者が多いことから、引き続き各関係機関と連携しながら支援を行います。 ◆また、中央町サテライトオフィスの活用など、起業しやすい環境整備にも努めてまいります。
						(外部)	(外部) ◆創業しても事業を継続していくことはなかなか難しいことだと思います。創業者が事業を継続していくための支援が必要ではないでしょうか。
	(3) 地場産業の人材確保・育成および競争力強化	彦根仏壇職人等後継者育成事業補助者数(人)【累計】 【地域経済振興課】	20	23	87.0%	(内部) ◆仏壇職人に魅力を感じる人材が少ないことが、後継者育成の障害となっています。	(内部) ◆彦根仏壇事業協同組合と連携して、仏壇職人のイメージと労働条件の向上に取り組めます。
						(外部)	(外部) ◆仏壇には七職と呼ばれる職人がおられ、それぞれの技術の特徴があり、その辺りが、仏壇だけではなくいろいろなものに活用できると、さらに魅力的な技術になっていくと思います。若者に対して、いろいろな展開があることを示せば良いのではないのでしょうか。
	(4) 6次産業化や農商工連携の推進による農林水産業の競争力強化	新規就農者数(人)【累計】 【農林水産課】	2	2	達成	(内部) ◆稲枝をはじめとする彦根市南部地域では、認定農業者をはじめとした担い手が充足しており、土地利用型農業にて新たに就農するには、借地を行う余地が少ないため、新規就農者を増やすことが難しい現状です。 ◆しかしながら、農業者の高齢化問題に対応すべく、雇用就農・農家子弟等の新規就農を引き続き関係機関とともに支援し、地域農業の持続性を保つことが引き続きの課題となっています。	(内部) ◆新規就農者への支援および補助制度につきましては、ホームページ等を活用し積極的なPRを引き続き行ってまいります。 ◆また、コロナ禍の影響により解雇・離職された等の理由から、新たな雇用就農・新規就農の希望者がある事を期待しており、引き続き、市と関係機関が連携して就農希望者へのサポート等を行い、条件が整えば国の制度を活用し交付金を交付することにより、新規就農者の定着を図ります。
						(外部)	(外部)
		法人経営体数【累計】 【農林水産課】	26	24	達成	(内部) ◆本市では経営法人化を希望する農業者は、概ね法人化を実現されるに至りました。 ◆今後においては、比較的高齢の個人経営農業者が、将来的に経営継承されることを見据え、事業継承を円滑に進めるために経営の法人化を推進する必要があります。	(内部) ◆認定農業者等の担い手がいない地域においては、集落営農組織の法人化や経営体質強化に向け、引き続き湖東地域農業センター等と連携し、その指導と支援を図ります。 ◆また、親元就農者が経営継承される機会などを捉えて、法人化支援を引き続き行ってまいります。
						(外部)	(外部)

令和3年度 KPI評価シート

R3年度の評価と課題	施策名	KPI名	R3年度KPI結果	R3年度KPI目標値	評価	課題	課題解決に向け、今後実施すべき取組
(5) 人材不足の職場における人材の確保・定着への支援	福祉の職場説明会参加者のうち就職に結びついた人数(人) 【高齢福祉推進課】	福祉の職場説明会参加者のうち就職に結びついた人数(人) 【高齢福祉推進課】	10	12	83.3%	(内部) ◆令和3年度は、福祉の職場説明会を12月と2月にコロナ禍であったことから2部制で開催し10人採用という一定の成果に繋げることができましたが、事業者と参加者の結び付け方を引き続き検討していく必要があります。	(内部) ◆令和4年度から補助金が拡大されることとなったことから、福祉の職場についてのPRに活用し、福祉の職場を更に身近に感じてもらえるよう情報発信していきます。
						(外部)	(外部) ◆コロナ禍で難しい部分がありながらも、ハローワーク等と連携し、工夫しながら実施されていると思います。
	ひとり親家庭が就職に有利な資格等を取得する際に係る費用助成対象者数(人)【累計】 【子育て支援課】	ひとり親家庭が就職に有利な資格等を取得する際に係る費用助成対象者数(人)【累計】 【子育て支援課】	35	34	達成	(内部) ◆資格取得後就労に結びつかない場合もあり、ひとり親家庭の自立に向けた就労支援を図る必要があります。	(内部) ◆児童扶養手当現況届の窓口対応時等で施策を積極的に周知することで、資格取得を促進することに加え、当課で実施しているプログラム策定員による就労支援を継続することで雇用や定着に繋げていきます。
						(外部)	(外部)
(6) 観光・文化・スポーツの振興による地域活性化策の強化	観光入込客数(人) 【観光交流課】	観光入込客数(人) 【観光交流課】	1,536,397	3,310,000	46.4%	(内部) ◆新型コロナウイルス感染症の流行により、目標達成には至りませんでした。対前年比約106%の観光入込客数となりました。	(内部) ◆日帰り客は対前年度比約113%と回復の兆しが見えましたが、宿泊客数は同約79%であったため、特に宿泊客を増やす取組を推進してまいります。
						(外部)	(外部)
	観光消費額(億円) 【観光交流課】	観光消費額(億円) 【観光交流課】	67	175	38.3%	(内部) ◆新型コロナウイルス感染症の流行により、目標を大きく下回る結果となりました。また、宿泊者数の減少等により、対前年比約85%の観光消費額となりました。	(内部) ◆今後の先行きは不透明ですが、withコロナ、afterコロナそれぞれに応じた観光振興施策や誘客施策等の研究・検討を行い、安心安全な実施や、準備を行ってまいります。
						(外部)	(外部)
外国人観光客数(人) 【観光交流課】	外国人観光客数(人) 【観光交流課】	3,494	91,000	3.8%	(内部) ◆新型コロナウイルス感染症の流行により、目標を大きく下回る結果となりました。	(内部) ◆外国人観光客については、国内観光客よりも回復は遅れるものと考えており、来るべきインバウンド需要の回復期に向け、afterコロナの外国人観光客誘致について調査研究を行ってまいります。	
					(外部)	(外部) ◆外国人観光客数については、国が入国制限していたので、仕方がないが、今後どのようにリカバーしていくかが重要ではないでしょうか。	
歴史まちづくり取組件数(件)【累計】 【景観まちなみ課】	歴史まちづくり取組件数(件)【累計】 【景観まちなみ課】	27	27	達成	(内部) ◆歴史的風致の維持向上には、関係課等による歴史まちづくりに関連した事業を継続的に取組む必要があります。	(内部) ◆彦根市歴史的風致維持向上計画に基づき、彦根城を中心とする歴史的風致を後世に伝えて行くため、関係課と市民や関係団体等の協働による取組を進める必要があります。	
					(外部)	(外部)	

令和3年度 KPI評価シート

R3年度の評価と課題	施策名	KPI名	R3年度KPI結果	R3年度KPI目標値	評価	課題	課題解決に向け、今後実施すべき取組
		スポーツ大会の市外参加人数(人) 【スポーツ振興課】	746	2,200	33.9%	(内部) ◆令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、ほとんどの大会が中止もしくは参加者を市内住民のみに限定しての開催となる中、シティマラソンは、大会史上初のオンライン開催として、799人の方に参加いただき、そのうち746人は市外住民であった。これについては、想定よりも多くの市外住民の方に参加していただくことができましたが、オンラインではなくリアルの大会を望む声が多いことから、感染拡大対策を徹底し、安心・安全を確保したうえで、コロナ禍前のような活気あふれる大会やイベントを開催していく必要があります。	(内部) ◆withコロナ社会の中で、感染症対策を徹底し、誰もが安心してスポーツできる機会を増やすための取組を推進していくとともに、令和4年12月に供用開始予定のプロシードアリーナHIKONE（彦根市スポーツ・文化交流センター）を最大限活用し、市内住民だけでなく、市外住民も参加できるよう周知徹底を図るなど、地域活性化に向けた取組を推進していきます。
						(外部)	(外部) ◆コロナ禍ですぐに回復することは困難かもしれないが、徐々に緩和しながら継続することが重要ではないでしょうか。